

郷土の偉人・大島有隣
― 石門心学入門 ― ①

今更ではありますが、「石門心学」とはなんでしょうか。端的に言えば、江戸時代中期の思想家である石田梅岩（一六八五～一七四四）が創始した「倫理学」です。「道徳」と言った方が、わかりやすいかもしれませんが、単に「心学」ということでもあります。陽明学を「心学」と呼ぶこともあることから、それとの混同を避けるため、石田梅岩の門流という意味で「石門心学」と呼ばれるようになったとされています。

創始した石田梅岩の思想の要は、「性（心）を知る」ことにあったとされています。梅岩は、その著『都鄙問答』の中で、「心ヲ知ルヲ学問ノ初メト云、然ルヲ心性ノ沙汰ヲ除、外ニ至極ノ学問有コトヲ知ラス、万事ハ皆心ヨリナス、心ハ身ノ主ナリ」と述べています。つまり、心を知ることが学問の初めであると共に、心性を究明することを除いて、それを超える学問はないとまで言っているのです。しかし、実は梅岩自身は一度も「心学」という語を用いていません。加えて、石門心学のことを指して、「心学」というだけなら、すでに寛政年間（一七八九～一八〇一）の著作物から多く確認することが出来ますが、その中に「石門心学」という文言は、見出されません。いつからそう呼ばれるようになった

のかさえ、はっきりしていないのです。もしかすると、近代明治以降に新たに成立した概念なのかもしれません。

翻って、梅岩の弟子である手島堵庵は、梅岩の言う「性（心）」を「本心」と言い換えて、その内容をより平易にし、多くの人々に把握させることに努めたとされています。堵庵は、心学発展の基礎を築いた人物であり、近年の研究では、彼の教化活動こそが、真の「石門心学」の門流創出なのだと思える向きもあります。

いづれにしても、石田梅岩にせよ、手島堵庵にせよ、あるいは大島有隣にせよ、石門心学が最初から何らかの完結した体系を目指したものでないことは確かです。（つづく）



石田梅岩の肖像

（社会教育課 町史・文化財担当編）

Enjoy Sports ★ スポーツ協会

Vol.13

杉戸町バスケットボール協会

沿革

当協会は、1987年（昭和62年）に広島中学校のOB会を中心に杉戸町バスケットボールクラブとして発足し、2004年（平成16年）に杉戸町バスケットボール協会に名称変更し35年目になりました。

団体数・加盟人数

高校・一般の部：8チーム 196名

中学生の部：5チーム 144名

現在は町内中学校・高校の部活動および一般の（ウィークエンド・MAX）で組織されています。

活動内容&PR

年1回の杉戸町スポーツ大会（体協祭）を主催し、毎年多くの参加者が汗を流し、バスケットボールを楽しんでいます。

ぜひ、一度体験していただき、一緒に心地良い汗を流してみませんか。ご連絡お待ちしております。



杉戸町バスケットボール協会についての問合せ
会長 田中 憲一 ☎090 (2930) 0298



ユニバーサルデザイン(UDフォント)を使用し、読みやすい書体を採用しました。

杉戸町
ホームページ



メール配信
すぎめー



広報スマホ版
マチイロ

